

さいたま市&バイエルン州共同開催ウェビナー

# 最先端AIロボティックス in さいたま市&バイエルン州

日時：8月31日（火）午後4時～5時45分（日本時間）  
午前9時～10時45分（中央ヨーロッパ時間）

形式：Zoomウェビナー

参加費：無料

言語：講演は英語、日本語通訳つき

申込：[ここをクリックするか](#)、[こちらのQRコードで](#)

担当連絡先：さいたま市産業創造財団 山本、加藤、佐々木、  
メール [jigy@sozo-saitama.or.jp](mailto:jigy@sozo-saitama.or.jp) 電話：048-851-6652



## スケジュール

16:00～16:20 AIロボティックス：  
さいたま市とバイエルン州の協力体制  
クリスティアン・ゲルティンガー博士  
ドイツ連邦共和国バイエルン州駐日代表部代表

16:20～16:50 AIロボティックスの産業への活用、  
その方策と事例  
ダニエル・ベルナルディーニ氏、ミュンヘン工科大学機械  
工学科、生産工学サイバーフィジカルシステム研究所 研究員

16:50～17:20 力の感知やその信号処理技術、  
その産業への応用  
辻 俊明准教授 埼玉大学工学部電気電子物理工学科

17:20～17:45 Q&Aセッション 閉会



## 講師紹介



クリスティアン・ゲルティンガー博士  
ドイツ連邦共和国バイエルン州駐日代表部代表



日本でも欧州でも、企業は常に人工知能（AI）や「スマートロボティクス」などの新しい技術の開発に挑戦しています。これらの技術開発は、効率の向上やビジネスモデルの進化に貢献するものです。社内での研究開発が限界に達しつつある多くの業界では、国際的なパートナーシップやオープン・イノベーションが、企業戦略や市場参入に不可欠な要素となってきました。本講演では、さいたま市とバイエルン州のパートナーシップによって、企業が持続的に成功するための近道を提案いたします。



ダニエル・ベルナルディーニ氏

ミュンヘン工科大学機械工学科 生産工学サイバーフィジカルシステム研究所 研究員

生産工学におけるAIとコンピュータビジョンの応用について紹介します。AIを研究開発だけでなく、工場でも利用できるようにするにはどうすればいいのか、その課題は何かについて、データ取得やデータラベリングから、ニューラルネットワークやロボティクスの応用まで、研究ではどのようなプロセスを経て、産業界での展開にどのように適応させていくのかについて講演します。



辻 俊明准教授  
埼玉大学 工学部電気電子物理工学科

物理的に相互作用する位置と力をどのように扱うかは、ロボット操作の重要な課題の一つです。ビジョンセンサや光学式エンコーダによって正確な位置情報を検出することができ、その信号処理技術も開発されていますが、力の感知やその信号処理はまだ開発途上です。そこで本講演では、力の感知に着目したいくつかの感知手法と、信号処理技術を紹介し、その可能性について議論します。また、組立や研磨などの作業において、力の情報をどのように取り入れるべきかについても講演します。